

化学委員会・生体関連化学分科会

第25期・第2回会議議事要旨

■日時：2021年12月24日（金）9:00～10:00

■会場：遠隔会議（zoom）

■出席者：（敬称略）

菅・井藤・伊東・上村・川合・神取・黒田・永次・渡辺・成田・菅原・大河内

■欠席者：井上・長谷川

■配布資料：なし

■議 題

1) 前回議事録確認

2) これまでの活動状況報告

3) 今後の活動について、シンポジウムの開催を目指すことを確認するとともに、意見交換を行った（参照）。

4) その他

1. 議事要旨の提出に関する委員長一任について、承認された。

2. 委員会委員間のメールアドレス共有について、承認された。

（参照）シンポジウムの開催テーマ及び教育・人材育成に関する意見交換

菅先生

カーボンニュートラル、新型コロナウイルス関連が重要なテーマ

政治家を混ぜての会議も考えられる（課題整理、Cov19 変異株によるタイムリー話題提供が難しい）

川合先生

カーボンニュートラルにおいて、ゲノム編集も重要な立ち位置

バイオマスからのバイオ燃料の生産向上

SDG の食料

ゲノムの委員会（2部）との連携も重要、菅野純夫先生（ゲノム・東大）

渡辺先生

WPI 関連は、バイオ系が多いので、テーマは豊富

神取先生

学術系のシンポジウムはできる
政治家を混ぜての会議は意義がある

成田先生

日本の科学力を底上げするには、中小大学の支援が不可欠
日本学術会議は長期視点で科学を社会に知らせる役割の重要性

菅原先生

生命系は幅広い、物理・化学・薬学など個々の分野でばらばらにある。
学術会議こそ、生命系を全体として見る必要がある。
共通テーマ。生命と物質、生命とは何か。
教育の問題。教師の雑用。

大河内

就職活動とアカデミアの公募
ゲノム編集の現状と課題、可能性についての一般市民との対話

永次先生

博士後期課程学生への支援・人材育成の重要性を引き続き働きかける。

川合先生

文科省・大規模プロジェクトは、大型施設に偏る。ロードマップの作成により中小施設も巻き込み、
大型研究として提案できないか。